

Week of September 3 - The Multi-Faceted Wisdom of God Small Group Lesson 7

知り合う

親として子どもに情報を隠すことは適切ですか？それは、なぜですか。子ども達が、その情報を知る "準備が整う"タイミングはやって来るのでしょうか？それはいつ頃ですか？いくつかのシナリオや経験を説明してください。

聖句 - エペソ人への手紙 3:1-13 (聖書協会共同訳)

1 このようなわけで、私パウロは、あなたがた異邦人のためにキリスト・イエスの囚人となっています。2 あなたがたのために私に与えられた神の恵みの計画について、あなたがたは確かに聞いたはずです。3 初めに手短に書いたように、啓示によって秘義が私に知らされました。4 あなたがたは、それを読めば、私がキリストの秘義をどのように理解しているのかが分かります。5 この秘義は、前の時代には人の子らには知らされていませんでしたが、今や霊によってその聖なる使徒たちや預言者たちに啓示されました。6 すなわち、異邦人が福音により、キリスト・イエスにあって、共に相続する者、共に同じ体に属する者、共に約束にあずかる者となるということです。7 神は、その力を働かせて私に恵みを賜り、この福音に仕える者としてくださいました。8 この恵みは、すべての聖なる者のうちで最も小さな者である私に与えられました。キリストの計り知れない富を異邦人に告げ知らせ、9 すべてのものを造られた神の内に永遠の昔から隠されていた秘義の計画がどのようなものであるかを、すべての人に明らかにするためです。10 こうして、神の豊かな知恵が、今や教会を通して天上の支配や権威に知らされるようになったのですが、11 これは、神が私たちの主キリスト・イエスにおいて実現してくださった永遠の計画に沿うものです。12 キリストにあって、私たちは、キリストの真実により、確信をもって、堂々と神に近づくことができます。13 だから、私があなたがたのために受けている苦難を見て、落胆しないでください。この苦難はあなたがたの栄光なのです。

(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び

1. パウロの言う「キリストの秘義」とは何ですか？なぜ秘儀なのですか？(4-7節)
   a. パウロは、どのようにしてこの見解に至ったのでしょうか。（3,4, 7節）
   b. 何が以前と違って明らかにされているのですか。（5, 7節, ローマ 9:6-8）

2. 初期のユダヤ人のクリスチャンにとって、異邦人が含まれるということが、画期的なことであったのはなぜですか。（エペソ2:12, 使徒15:7-9, 13-14節）

   a. パウロはその啓示を受けて何をしようとしたのでしょうか？
   （ピリピ1:21, 3:7-8）

適応: 記されているように、教会は、キリストにおいて成し遂げられた神の永遠の目的の一部として、神の多面的（バラエティに富んだ）な知恵を明らかにすることを意図に築かれています。

このことは、教会を通してどのように成し遂げられるのでしょうか。

ディスカッション:
パウロはイエス・キリストのために、どれほどの苦しみを受けましたか。このことは、私たちに何をすべきか、苦しみの可能性にどう対処すべきかをどのように教えていますか。教会のすべての人が彼のようにしたわけではないことに注目してください。それは、なぜでしょうか？

シェア

あなたの経験は、使徒パウロの経験とどのような点で似ていますか？(8, 13節）あなたは、福音を伝える恵みと召命を与えられていますか？その結果、苦難を受けたことはありますか？

成長

賛美と具体的な祈りの課題を分かち合うことによって、互いに仕えましょう。

- キリストによって成し遂げられた、神の永遠の目的の秘儀に対するこの深い洞察が、私たちに大胆さと自信と信仰を与え、他の人々と分かち合うために神に用いられるように祈りましょう。
- 私たちが教会を通して神の多面的な知恵を、天上の支配者や権力者に至るまで、すべての人に示すことができるように祈りましょう。